

第3回 大津市庁舎整備基本計画策定懇話会 議事録（要旨）

日時：令和7年3月27日（木）

10：30～11：50

場所：新館7階特別会議室

- 1 開会
構成員6名出席
- 2 座長挨拶
- 3 懇話会の公開及び傍聴について
原則公開（異議なし）
傍聴人入場（6名）
- 4 配布資料
大津市庁舎整備基本計画（素案）
- 5 意見交換
テーマ：庁舎整備基本計画（素案）について
○事務局より資料説明
○株式会社日建設より、前回個別意見収集からの基本計画（素案）の変更点について説明
○意見交換

【要点】

- P12「1.公園と一体となった庁舎」において、市民ワークショップの内容が反映されていることが分かるような表現をスケッチなどで追加してもらいたい。
- P16「3.市民が利用しやすい庁舎」において、あらゆる世代が利用できると記載があるため、子どもや中高生などが庁舎を使うイメージを追加してもらいたい。
- 一部画像で貼り付けている表などの文字が小さく読みにくいところがあるため、修正すること。
- 庁舎とその周りについてはかなり検討が進んだ一方で、市役所の主体性が分かるような説明、イメージを追加してもらいたい。
- 市民交流スペースも庁舎の南側に寄っており、大津京との繋がりが分かるように、北側（JR大津京駅側）のエントランスも市民交流スペースとして活用する表現としてはどうか。
- このプロジェクトは今後10年をかけて進めていくものであり、将来の社会変化を見据えた柔軟な庁舎を目指すべきで、例えば、駐車場を平面駐車場にして広場への転用を可能にするなど、柔軟性を考慮していることを注記してもらいたい。

【A委員】

- ・本懇話会での意見交換を踏まえ、庁舎整備基本計画の策定に向けて、以下3点指摘事項がある。
- ・1つ目は、P12「1.公園と一体となった庁舎」において、市民ワークショップの内容が反映されているものの、具体的な導入機能の記載がない。具体的な機能についてはP36「(3)各部署配置構成」でプランに表記されているが、前段のP16でもう少し記載してはどうか。
- ・2つ目は、資料2のイラスト①において、新庁舎が目立たず場所が分かりにくいいため表現を工夫してほしい。
- ・3つ目は、P36「配置構成」における展望スペースにおけるセキュリティラインについての考えを示しておくべき。
 - 議会のセキュリティはどのようなイメージか。傍聴に来てもらうためにオープンにしておくことが望ましいという考えもあるが。
 - 神戸市では展望スペースがあるが、警備員が常駐しており、そのようなことも考慮する必要がある。
 - 警備員は来庁した市民が体調を崩した場合のケアを行うなど、セキュリティの観点とは別の目的で配置されている場合もある。

【B委員】

- ・2点指摘事項がある。
- ・1つ目は、P2にもあるが、大津市の中で今回の計画地である皇子山総合運動公園のエリアがどういう位置づけであるかが分かるようになっていないと良い。
- ・2つ目は、P16「3.市民が利用しやすい庁舎」において、あらゆる世代が利用できると記載があるがイメージがしにくい。子どもや中高生などが庁舎を使うイメージもあると良い。

【C委員】

- ・かなり積極的にこれまでの懇話会での意見を概ね反映いただいている。イラストも良い。イラストに光と風と水の利用、史跡、大津愛を育むなど全体の構成に繋がるようにグレードアップできると良い。
- ・一部画像で貼り付けている表などの文字が小さく読みにくいところがあるため、修正いただきたい。
 - 市民が大津市の歴史文化、観光資源をより理解できるような場所があると良い。皇子山はジュネーブと似ており京都国際会議場の設置候補地であつたくらい世界に誇れる場所でもある。また、P21のZEBを説明する図表が小さく見えにくいいため、修正いただきたい。

【D委員】

- ・資料2のイラスト①は、庁舎周辺の場所の名称が入ればより分かりやすくなると考える。P30のイメージのとおり、公園との一体化については分かりやすくなってきたが、逆にこの新しい庁舎で何ができるのかということが弱まってしまったように感じる。周りとの関係だけで

なく、市民が集う場所としての市役所なのか、人をつなげる場所としての市役所なのか、人が出会う場所としての市役所なのか、開かれた市役所なのか、庁舎の役割が分かるような説明、イメージを追加してもらいたい。

→市庁舎の役割については資料2のパーズ③を活用したらどうか。

→市役所の職員と市民がどのように繋がるのかについてイメージできると良い。イラストで市の職員が市民を見守るような表現などができないか。

→一人暮らしの高齢者が増えることを考慮すると、職員が来庁者へ声がけを行うようなことも重要になってくるかもしれない。

- ・ P36「展望スペース」と「展望テラス」との違い、「展望スペース」までのアクセスが分かりにくいと感じる。市民交流スペースも庁舎の南側に寄っており、大津京との繋がりが分かるように、北側（JR 大津京駅側）のエントランスも市民交流スペースとして活用する表現としてはどうか。エントランスが JR 大津京駅側にできることで駅と市役所との距離も縮まり、心理的にも近く感じるようになる。
- ・ スケジュールにおいて、建設費の高騰を意識している表現を追加した方が良い。
- ・ P7の市民ワークショップ参加人数を延べ人数などの表現に変更した方が良い。また、実施の予定があれば、基本設計以降の市民ワークショップの開催予定も示しておいた方が良いのではないか。

【E委員】

- ・ 2点指摘事項がある。1つ目は、P12において公園と一体となった庁舎に対する市民ワークショップの具体的な意見や市民のわくわくが、イラストや言葉でもう少し表現されると良い。
- ・ 2つ目は、P11「コンセプト」において、本プロジェクトが今後10年をかけて進めていくプロジェクトであることを考えると、将来性を考慮して「将来の社会変化を見据えた柔軟な庁舎」などのキーワードを追加することが望ましい。例えば、P29「駐車場」において、平面駐車場を確保するだけでなく、将来的な変化も考慮し広場へも転用が可能、などの表記があると柔軟性があるという点で良いのではないか。
- ・ P24「ユニバーサルレイアウト」についても将来に向けた対応や可変性を考慮したものである旨を記載いただきたい。P3「検討経緯」のとおり、これまでも長い間検討を進めてきており、更に将来に繋がるようなことがもう少し踏み込んでP11のコンセプトでも表現ができると良い。

→これから25年先を見据えた、未来を見ていく計画であることを言葉でP11に表現してはどうか。また、MaaSや自動運転の普及等将来のモビリティシフトを誘導できるような仕組みを持った庁舎を目指せると良い。例えば、市役所に行くなら京阪石坂線となるような。
- ・ 基本計画(案)がまとまった段階で、市民ワークショップの参加者に連絡はするのか。

→基本計画は策定後に印刷したものをワークショップ参加者には送付する予定。また、パブリックコメントの実施に合わせて基本計画に関する市民向けの説明会を開催する予定。
(事務局)

【F 委員】

- ・ 車道からの顔を意識して庁舎をデザインしてもらいたい。また、歩道をしっかり歩けるようなデザインにしてもらいたい。
- ・ 皇子山や周辺地域がどういう場所なのかという記述があった方が良い。
- ・ 市民ワークショップでの意見は、この基本計画を作成する際の材料とし、懇話会の意見としてまとめた。重要な点はできるだけ具体的な表現をして、設計の際に意図が伝わるようにしておかないといけない。
- ・ P18 のようにバリアフリー、インクルーシブデザイン、ダイバーシティに配慮した基本計画とし、若い世代にもメッセージを発信できる市庁舎になると良い。
- ・ 地下水は枯渇するなどの問題が発生する可能性があることから、利用に際しては、十分な検討が求められる。
- ・ 資料3「用語集」は、例えば母親が小学生の子に説明できるくらいに、分かりやすく記載いただきたい。

【事務局】

- ・ 以下、いただいた意見に対して回答する。
- ・ P2 の皇子山公園整備については、公園のあり方検討を別途業務で行い、市における公園整備のロードマップを作成する予定である。
- ・ P12 及び P16 においてワークショップの意見の反映が弱いとのご指摘があったが、導入機能を記載した場合、その機能が必ず導入される印象を与えるため明記を避けていた。基本設計で具体的な検討が必要なため、ワークショップの意見の反映については、イラストで機能が分かるような表現とするなど対応方法を検討する。
- ・ P11 のコンセプトに将来を見据えたものであることを表現することは可能。また、P29 の平面駐車場の記載についても同様に対応可能。
- ・ P36 市民交流スペースの赤線の囲みは京津京側も囲むようにしたい。また JR 京津京駅や京阪京津市役所駅からのアクセスは矢印を追加するなどとして分かりやすい表現を検討する。
- ・ セキュリティについては今後の基本設計で反映する想定であり、その旨記載したい。
- ・ 基本コンセプトの歴史文化などの記載を盛り込みたい。

6 その他

- ・ 本懇話会での意見交換を踏まえ、基本計画の策定に向け整理を進める。
- ・ 今後の懇話会の開催につきましては、パブリックコメント後、令和7年6月頃を予定。

7 閉会

以上